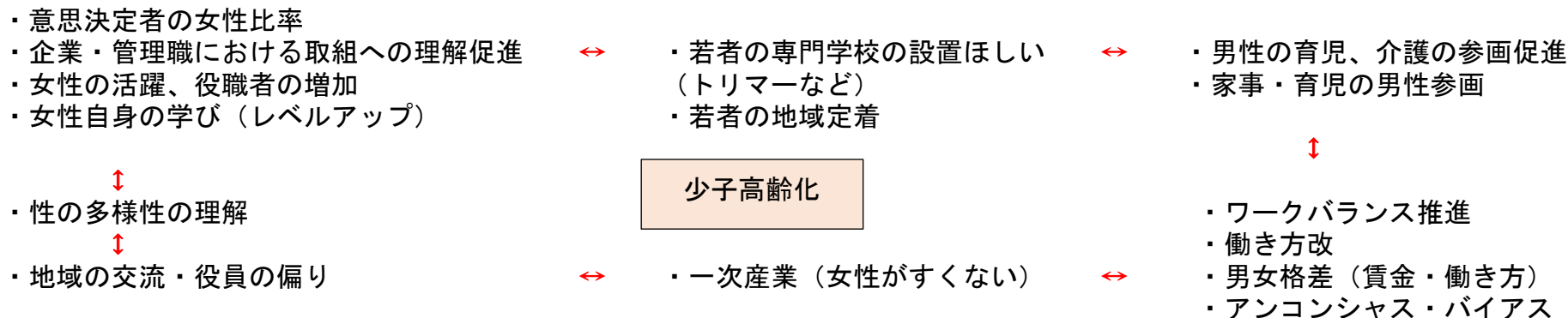


1 男女共同参画のどんなテーマが重要だと思うか？

『少子高齢化』を中心に、様々なテーマが複合的につながり合っている。



2 男女共同参画サポーターになったときと現在で、感じる社会の変化は？ また、大船渡にまだまだ足りないこととは？

<社会の変化>

- ・15年前に修了した際は、「女性らしさ、男性らしさ」という表現が、今は「自分らしさ」になっている
- ・学校名簿や出席番号が男女混合になった
- ・学校の制服で、女性のスカートがズボンとの選択制になった
- ・ジェンダーレスの制服
- ・交通の便がよかった
- ・昔はトイレにナプキン（生理用品）がなかったが、今は置いている所がある
- ・ハラスメントの知識が増加している

<まだまだ足りないこと>

【情報伝達】

- ・様々な面で発信力（発信力）が弱い
- ・海外への発信力が弱い
- ・発信力が弱い（本気度が感じられない）
- ・知らない

【安全対策】

- ・交通安全の意識が低い
- ・防災意識が低い
- ・非常時バックを持っていない
- ・ハザードマップの理解

【子育て関連】

- ・公園の数（遊具の充実）
- ・子育てやさしい 遊ぶ場が少ない

【意識等】

- ・昔は男女共同参画宣言したのに、まだなっていない。忘れてる

【環境】

- ・海の活用が弱い（釣り、水族館、潮干狩り欲しい）
- ・環境を生かしきれてない
- ・みんなで活用するトイレが足りない

【移住・定住】

- ・若者の地元定着
- ・大船渡市の外からの居住少ない
- ・移住者、定住者が少ない

グループの意見まとめ

重要なテーマとしては、女性活躍に関することとして、意思決定をする女性の比率が少ないこと、企業の管理職に理解力の促進が欲しいこと、女性の役職者が増えてほしいこと、そのために、女性自身の学びやレベルアップが必要であることなどを話し合った。

また、町での若者の定着率が低いこと、若者を呼べる専門学校などを設置した方がいいのではないかという意見もあった。

男性が家事・育児や介護に参画すること、働き方やワーク・ライフ・バランスのバランスをとることが必要であるとの意見もあった。

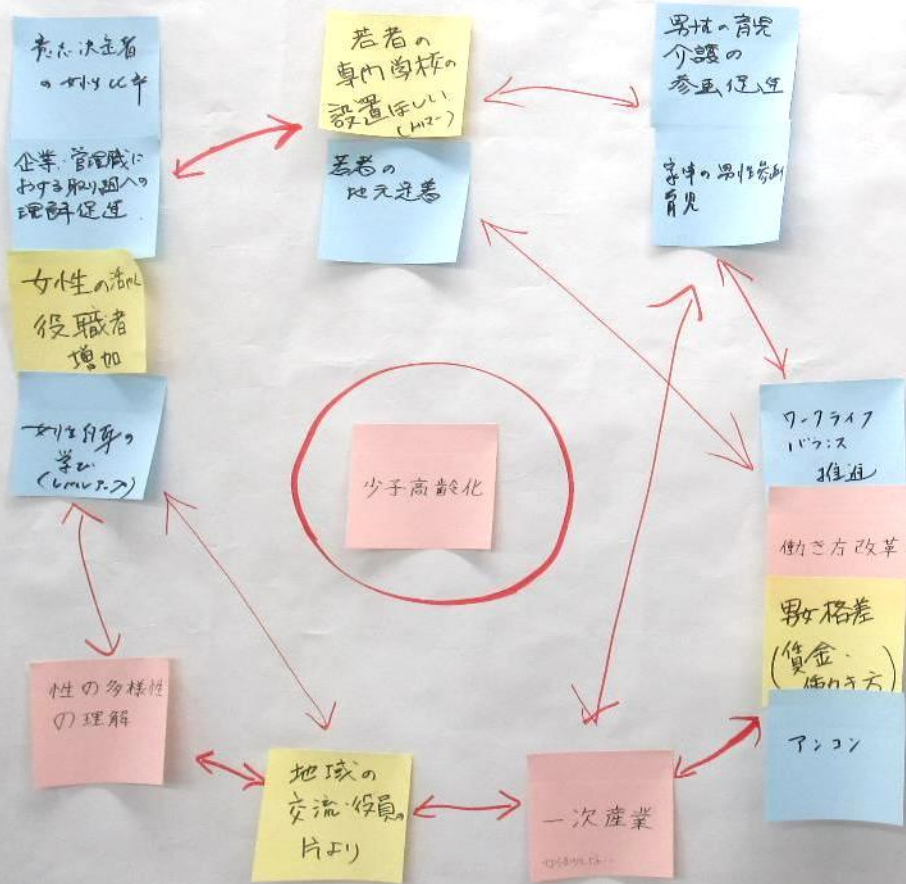
第1次産業においても女性は少ない。性の多様性などを含めて、さまざまなことに取り組むことで、最終的に少子高齢化を解消するものになっていくのではないかとと思われる。

社会の変化については、昔はハラスメントがあったが、この頃はハラスメントについて色々なところで周知されており、報道でも話題になっているのがよい変化であると感じている。また、昔は女性トイレに生理用品はなかったが、今は置いてある所もあり、配慮されていると感じる。

学校の中では、出席番号が男性、女性と別れていたものが、今は混合になっている。ジェンダーを意識して、女性でもズボンを選べるようになっている。町の交通の便が良くなったとも感じている。

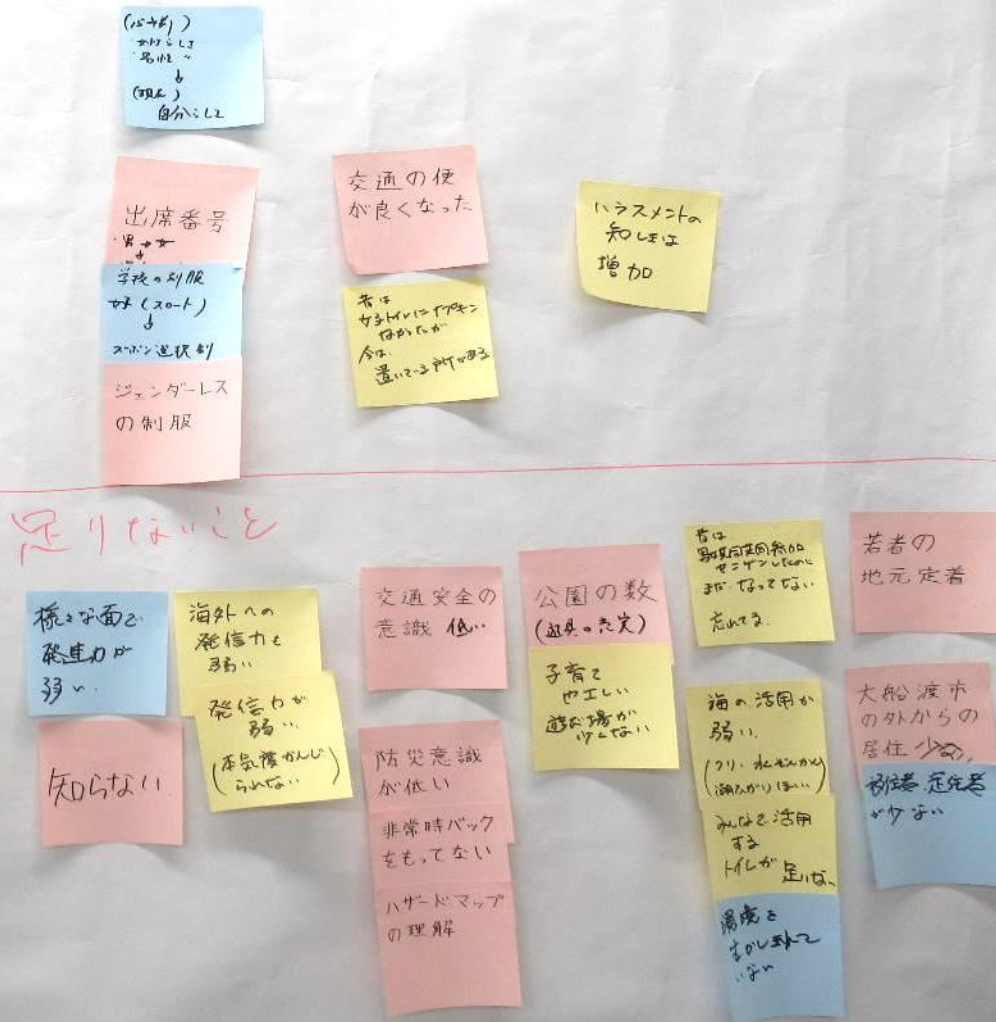
まだまだ市に足りないと感じているのは、情報の発信力が弱いこと。大船渡市民向けの情報発信が少なく、足りないと感じている。ほかに、公園の数が少ないことや、交通安全などの防災における意識が低いのではないかとと思われる。色々な面で発信が少ないし、市民が知らないということが多い。まだまだ足りないことが多いと感じている。

①男女共同参画の
どんなテーマが重要?



② 感じる変化と、足りなさに

1グループ



1 男女共同参画のどんなテーマが重要だと思うか？

・女性の政治参加（特に地方） 市議会の男女比 ・相談支援 子ども、親の働き方、子どもと向き合う	・防災とジェンダー 支援物資の分け方 男性中心の避難所運営 ・地域の中での格差	・男女の格差 家庭内の役割分担 ・若者に帰ってきてほしい 将来が不安、お墓問題 働く場所、福利厚生、よい仕事がない
--	--	--

2 男女共同参画サポーターになったときと現在で、感じる社会の変化は？ また、大船渡にまだまだ足りないこととは？

<社会の変化> (よかったこと) ・トイレにナプキンや、ナプキンの付け方の紙がある（都内ではどれくらいあるか） ・お父さんも授業参観に来るようになった 結構多いけど、会社も休みやすくなるとよい また、昔はお母さんばかりだった	<まだまだ足りないこと> ・何年たってもよそ者、地域の話し合いは男性が中心 ・教員の育休時の対応 ・（育休時などの）まわりのフォロー体制 ・産みにくい社会 ・チャレンジショップ（育児中、育休中のママ、パパたちが参加できるもの） ・市で足りないこと、勤務時間は休みも入れて、改善がないと思う ・働き方改革 ・居場所づくり ・カフェみたいなしゃべるイベントを、地元のおいしいお店で年数回とか	・「男女共同参画」は名前が四角すぎるので、違う名前がよい ・サポーター養成修了生が（いわて男女共同参画サポーターの会）気仙ブロックに入会してほしい、メンバーが高齢化になっているので、活動が大変 ・サイボウズ（株）の青野代表取締役社長が以前講演された、男性の育児に関する男女共同参画の話を大船渡でも聞きたい ・緊急避妊薬どこでゲットできるかの周知
--	--	---

グループの意見まとめ

重要なテーマとしては、女性の政治参加が少ないのではないかと、市議会の男女比はなぜこうも差があるのか、という意見があった。ほかにも、男女の格差として、いつまでたっても父親が権限を握っている家庭が多いことや、地域の中での格差として、嫁に来た人は何年たってもよそ者扱いされることなどが挙げられた。そういった問題がまだあることについて、皆さんに考えてもらいたいと思っている。

また、防災とジェンダーの視点において、地域の公民館の館長や係などの担い手がみんな男性であることから、女性も参加してもらえれば、被災時の対応として、トイレに生理用品を配ることなど、女性に配慮した取り組みもできるのではないかと意見もあった。

社会の変化については、子育てにおいて、最近はお父さんが授業参観によく出てきていることなどではないか、という意見があった。

まだまだ市に足りないと感じていることとして、中学校の先生が育休をとったときに、その欠員の対応が悪く、育休がとりにくい社会にならないければいいなと思ったことがあった、という意見があった。

男女共同参画サポーターの活動としては、サポーター養成講座を修了した方が市内にも結構いるが、「いわて男女共同参画サポーターの会気仙ブロック」（気仙2市1町のサポーターで構成）への参加がないのはどうしてなのかと聞いたら、「知らなかった」と言う方が多かった。現在のメンバーは高齢化が進んでいて、若い方がほとんどいない状況であるとの意見もあった。

ほかにも、居場所づくりや育児中のチャレンジショップなどを市に開催してほしい、働き方改革で勤務時間とか休みを入れて、改善してほしいという意見があった。

今後、男女共同参画を浸透させていくためには、講演会とかが分かりやすく、参加した人に「（男女共同参画の取り組みが）やっぱり必要なんだな」と思うよう、教えてもらえる講師に何度も市に来てほしいと話し合った。また、「前回は大船渡で開催したのですが、次は…」、というように沿岸でどんどん進展させていくことが一番大切だと思う。

テーマ②

教員の育休
時の不安
男性の育休
まわりの
フォロー体制
産みにくい
社会

チャレンジ
(育児、育休
のママパパが
参加できる)

命をとりかえ
勤務時間
作れるように
改善したい
と思う

はたらき
改革

かたみたいな
しゃべるイベントを
地元のおいしい
お家で！年数回
男女共同参画
名前が四角く
する...のてしる

居場所づくり
会

サピ・9・春版
終了後、各自治体
に配布し、
高台化にしている
↓
の、活発な
大受け

サイボースのあとの
土の男女共同参画
の話(育児)
大受けでも
聞きたい！

緊急避難票
どこでゲットできる
の、同知

テーマ①

2グループ

グループ2

#性の政治
参加(特に地方)

市議会の
男女比

相談支援

子ども
親の働き方
子どもと
向き合う

防災と
ジェンダー

支援物資の
分け方
男性中心の
避難所運営

地域の中での
格差

何年たっても
おそ者
地域の話しは
男性中心

男女の格差

家庭内の
役割分担

お父さんも
検査者意見！
けこうないで
金銭的負担多い

昔は
お母さん
ばかり
だったよね...

若者に
帰ってきてほしい！

将来が
不安
お墓問題

働く場所
福利厚生
良い仕事か
ない

あって良かったこと！
トイレにナプキン
やナプキンの付いた
の紙がある。(老保
用)とくらべて